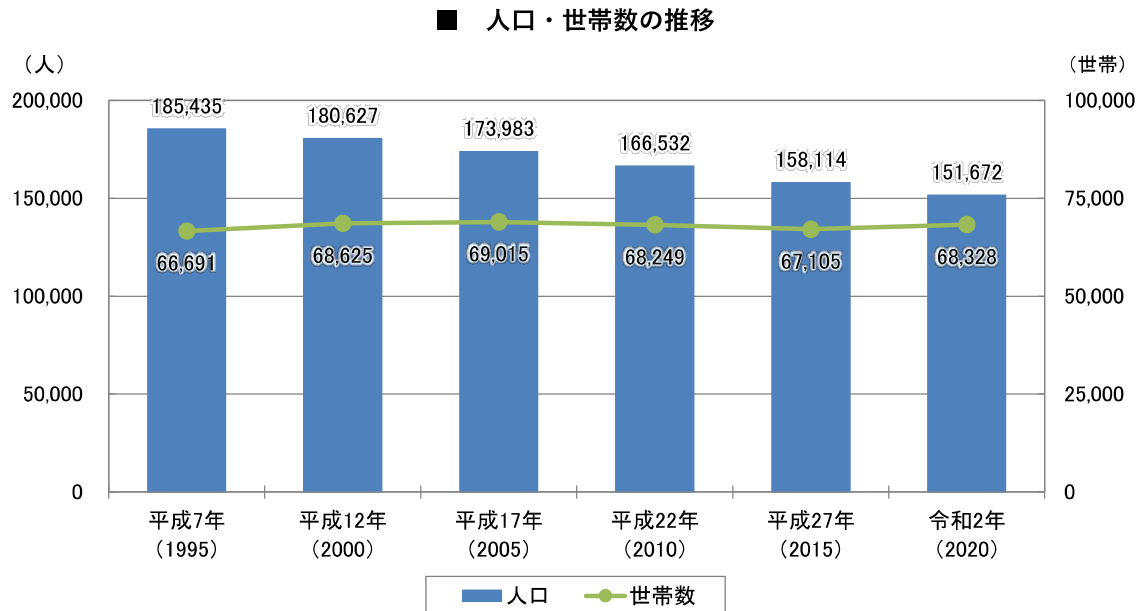


1. 今治市域の現状

(1) 人口・世帯数の推移等

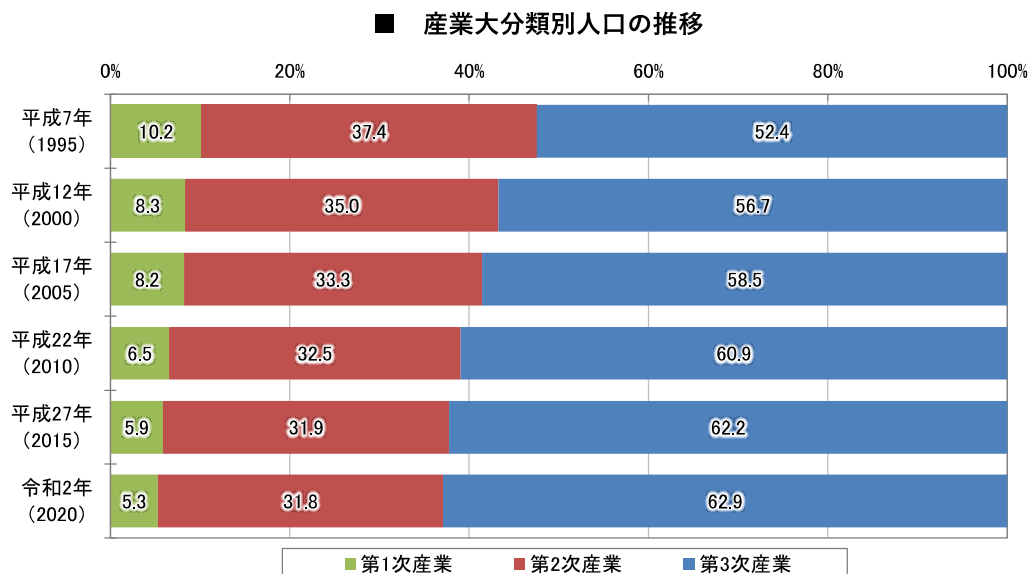
① 人口・世帯数の推移

人口・世帯数の推移をみると、人口は減少傾向が続いており、令和2年（2020年）は151,672人となっています。世帯数はおおむね横ばいで令和2年は68,328世帯となっています。



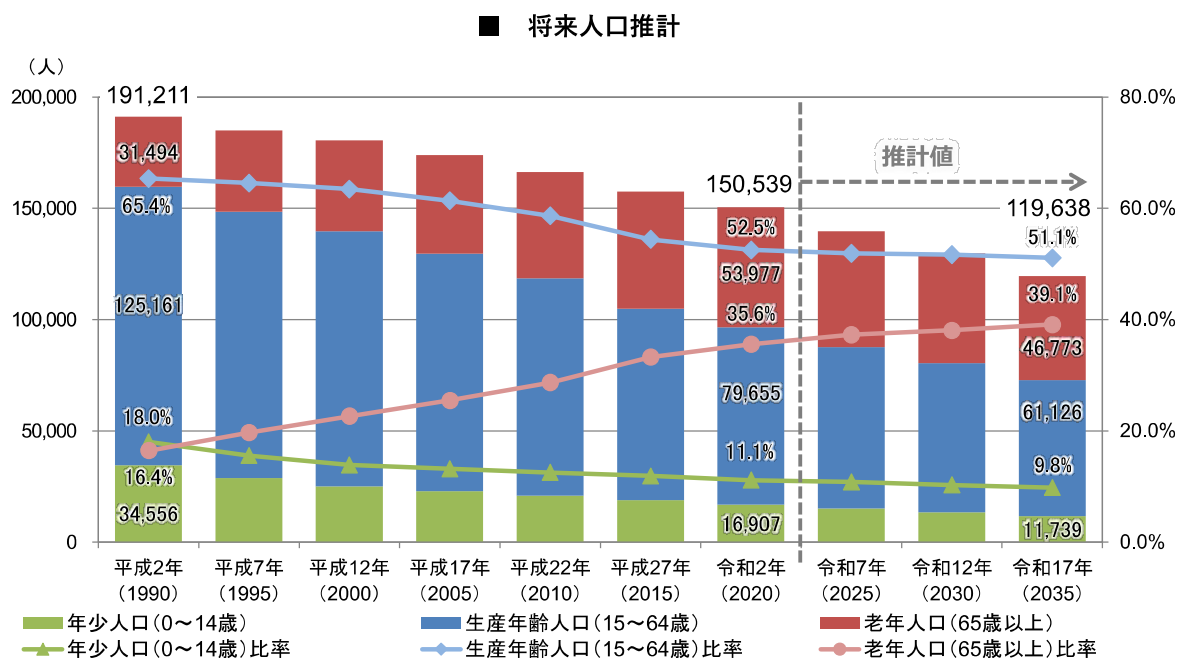
② 産業大分類別人口

産業大分類別人口の推移をみると、第3次産業の割合が増加傾向にあり、令和2年（2020年）は62.9%となっている一方、第1次産業及び第2次産業の割合は減少傾向が続いており、令和2年（2020年）における第1次産業の割合は5.3%、第2次産業の割合は31.8%となっています。



③ 年齢3区分別将来人口推計

市全域における将来人口の推移をみると、総人口は令和17年（2035年）まで減少傾向が継続すると予測されています。減少割合を年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳）は1.3%減少、生産年齢人口（15～64歳）は1.4%減少、老年人口（65歳以上）は3.5%増加すると予測されます。



※年齢不詳は含めていない

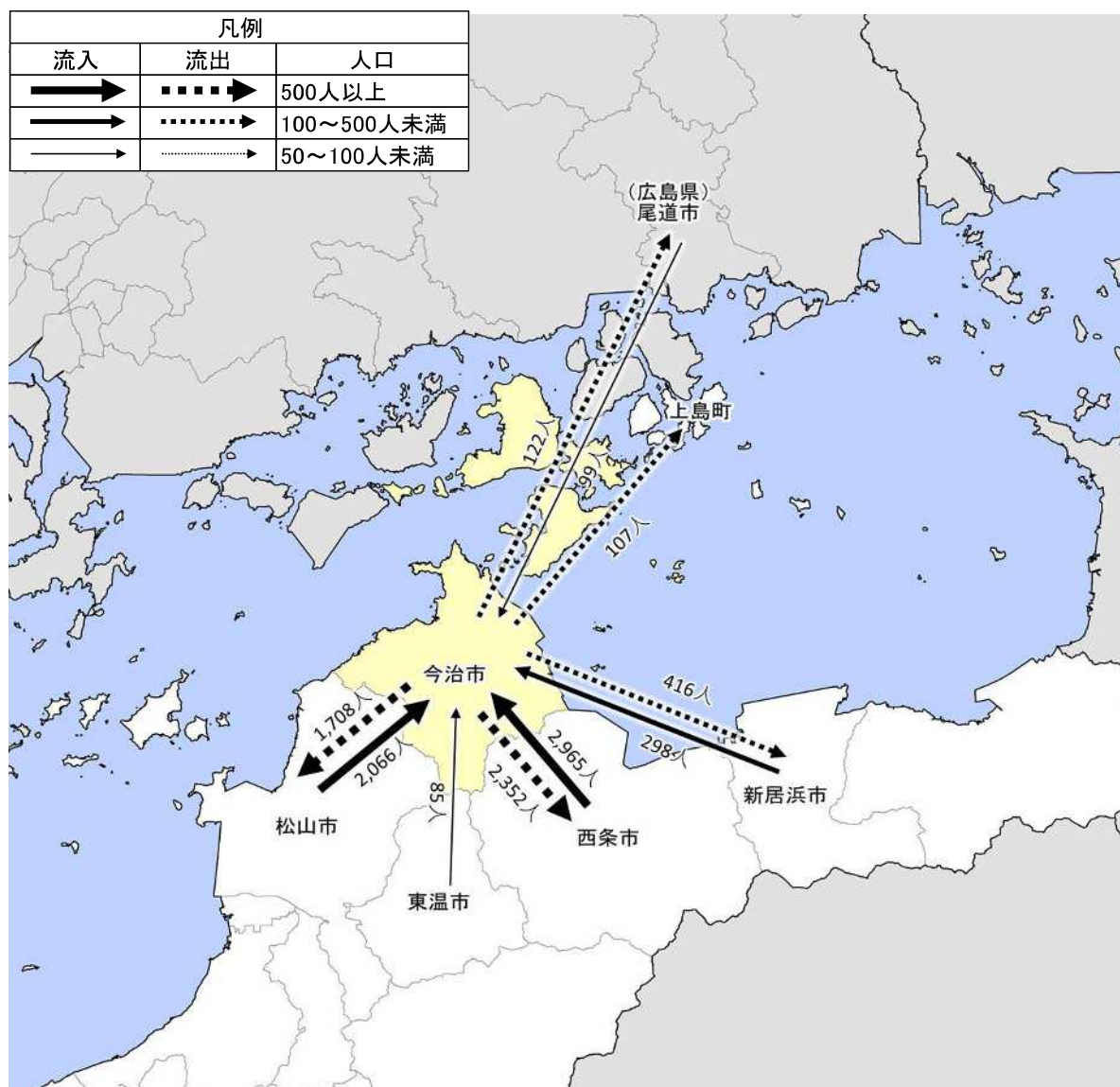
資料：平成2年から令和2年：国勢調査、令和7年から令和17年：国立社会保障・人口問題研究所

④ 人口流動

令和2年（2020年）における市全域の流入・流出先の上位5市町村をみると、流入・流出先は西条市が最も多く、次いで松山市、新居浜市、尾道市となっています。

流入のみ上位の地域は東温市、流出のみ上位の地域は上島町となっています。

■ 人口流動



※流入・流出の上位5自治体を表示

資料：国勢調査

(2) 交通の状況

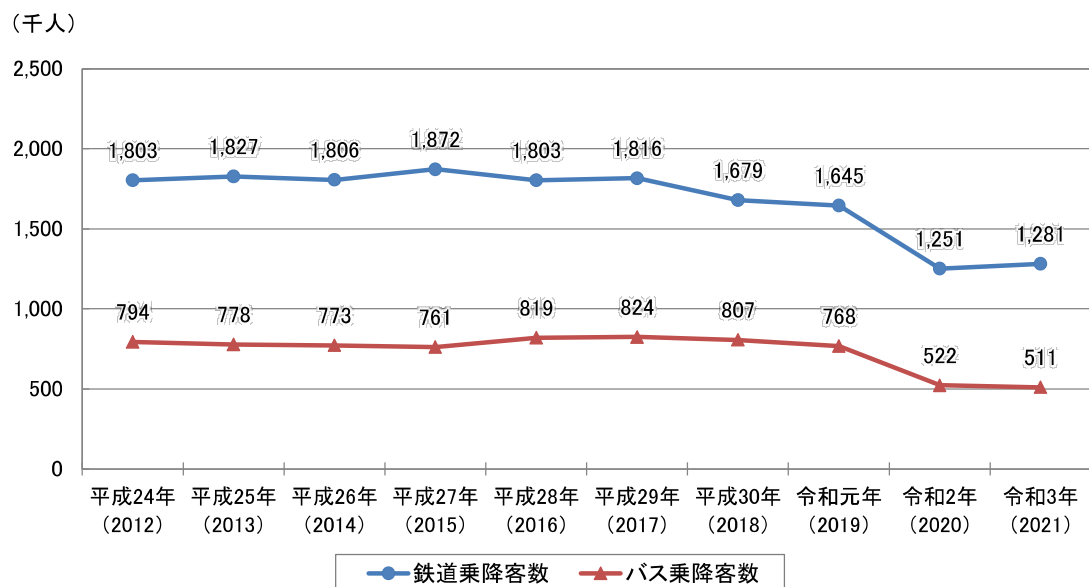
① バス、鉄道、船の年間乗降客数等の推移

公共交通の利用者数は毎年減少していますが、近年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり大幅な減少がみられました。

令和3年(2021年)における鉄道乗降客数は約128万人となっており、バス乗降客数は約51万人となっています。

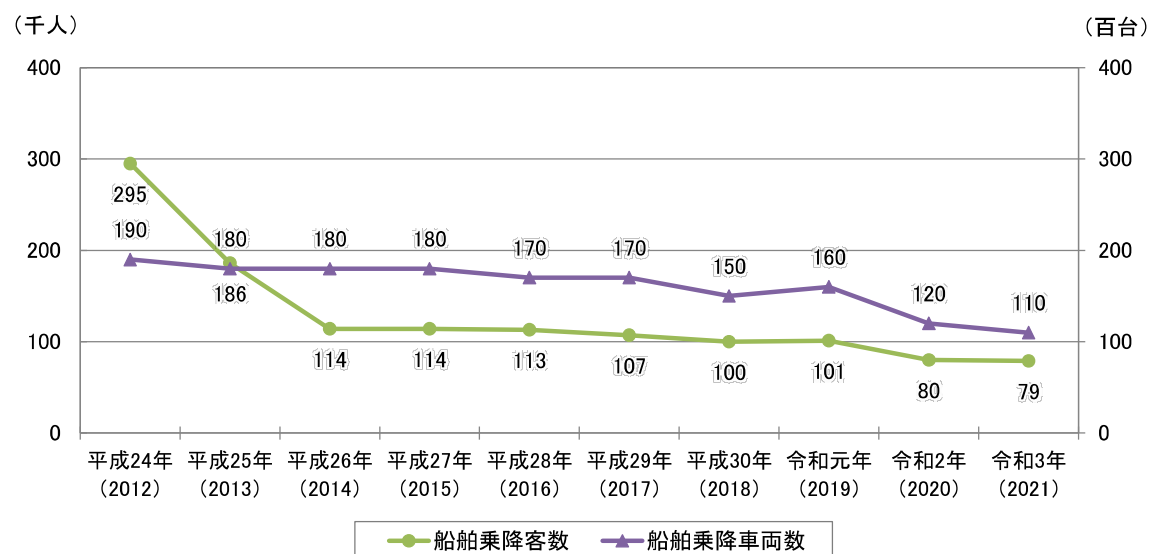
また、令和3年(2021年)における船舶の年間乗降客数は79,000人、車両数は11,000台となっています。平成26年かけて年間乗降客数が著しく減少している背景には、平成18年(2006年)の西瀬戸自動車道開通による航路の廃止・減便が影響していると考えられます。

■ バス・鉄道の年間乗降客数



資料：庁内資料

■ 船舶の年間乗降客及び車両数

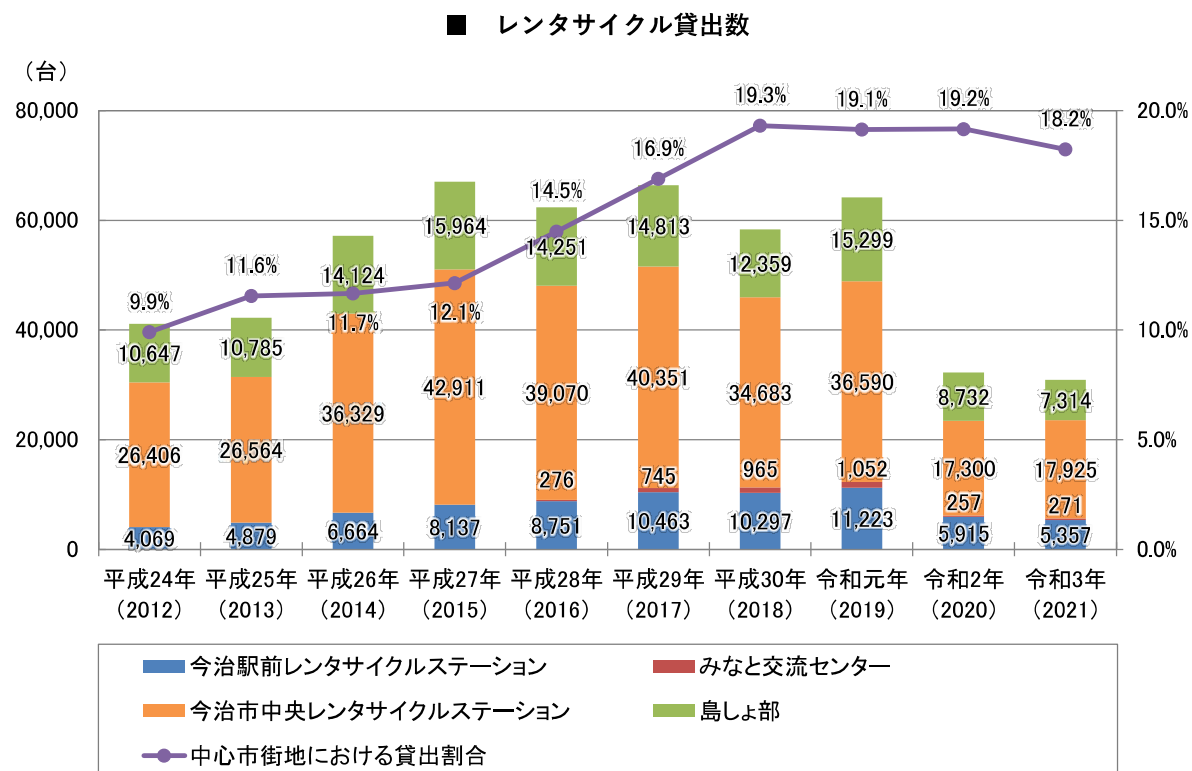


資料：庁内資料

② レンタサイクル貸出数

今治市におけるレンタサイクル貸出数の推移をみると、各年において、今治市中央レンタサイクルステーションでの貸出が多くなっています。

中心市街地におけるレンタサイクル（今治駅前レンタサイクルステーション及びみなと交流センター）の貸出割合は平成30年（2018年）まで増加傾向にあり、近年は約19%で横ばいとなっています。



※みなと交流センターでのレンタサイクル貸出は平成28年より開始、令和3年4月廃止

資料：庁内資料

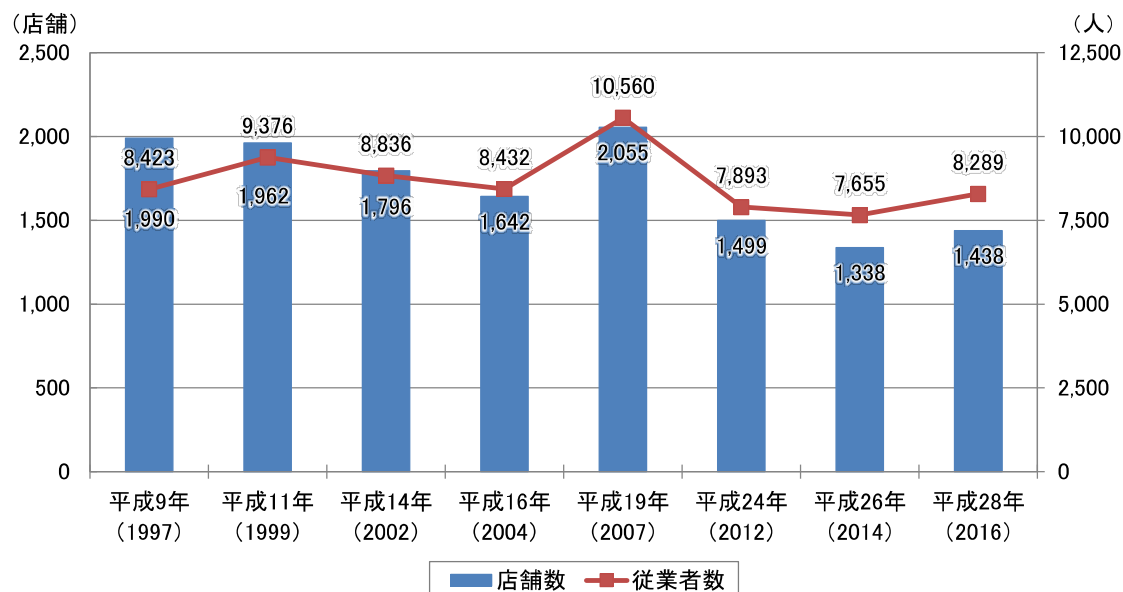
(3) 商業及び観光の状況

① 商業の動向

小売業における店舗数、従業者数の推移をみるとは、平成 19 年（2007 年）以降減少傾向となっています。

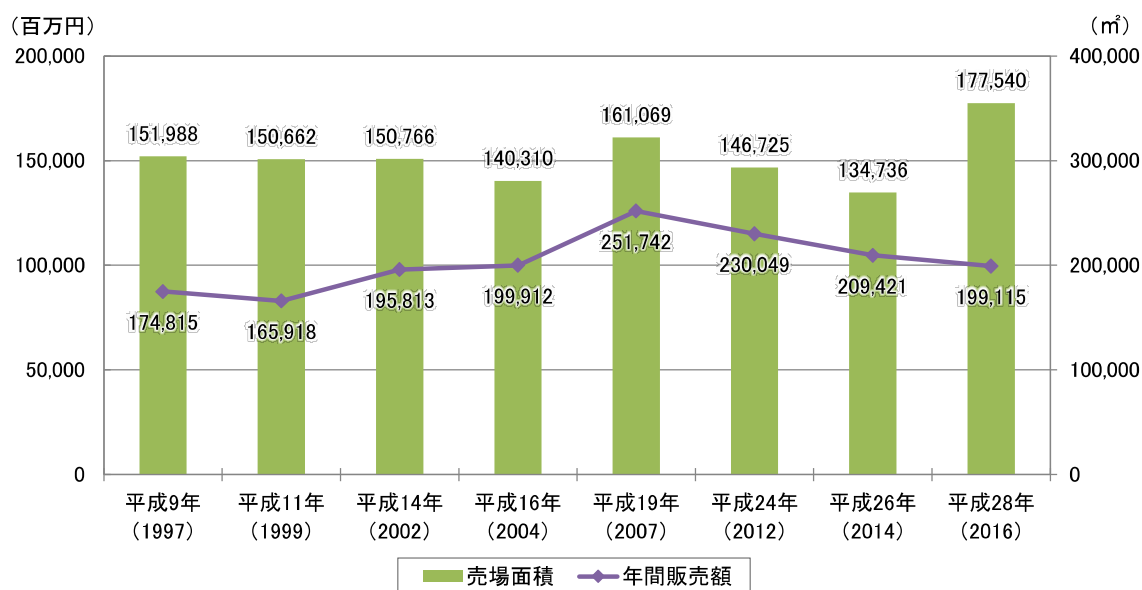
また、売場面積及び年間販売額の推移をみると、平成 19 年（2007 年）から減少傾向でしたが、「イオンモール今治新都市」が開店したことから、平成 28 年（2016 年）に売場面積が約 40,000 m²増加しています。

■ 小売業店舗数及び従業者数



資料：商業統計（平成9年～平成19年）、経済センサス（平成24年～平成28年）

■ 売場面積及び年間販売額



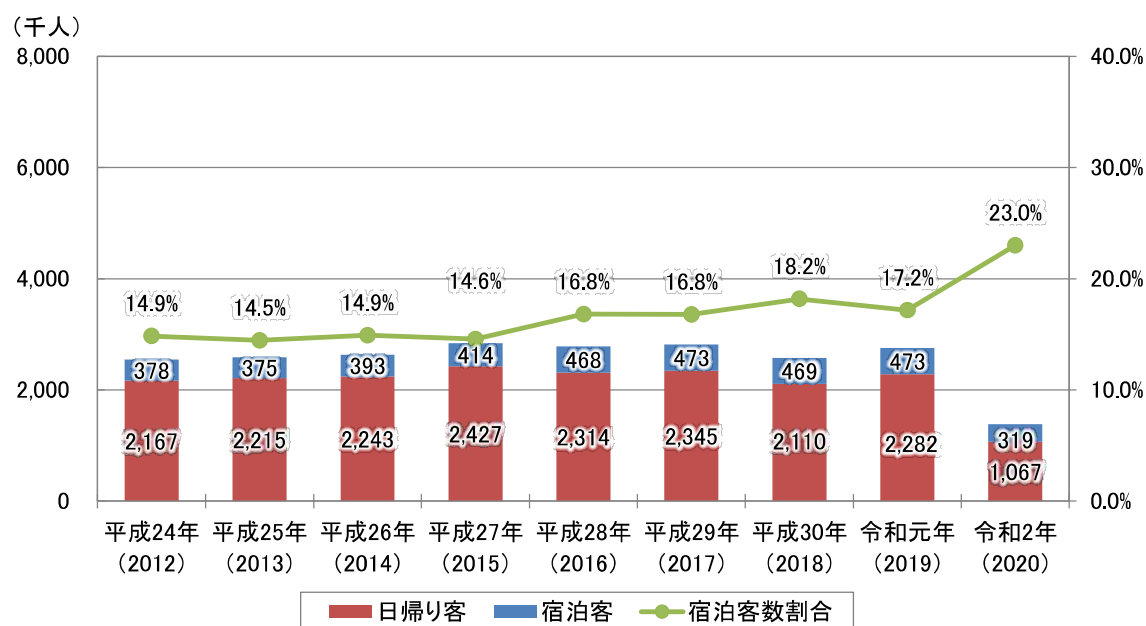
資料：商業統計（平成9年～平成19年）、経済センサス（平成24年～平成28年）

② 観光客数の推移

今治市における観光客数の推移をみると、令和元年までおおむね横ばい傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年（2020年）から半減し、令和3年（2021年）の観光客数は約121万人となっています。

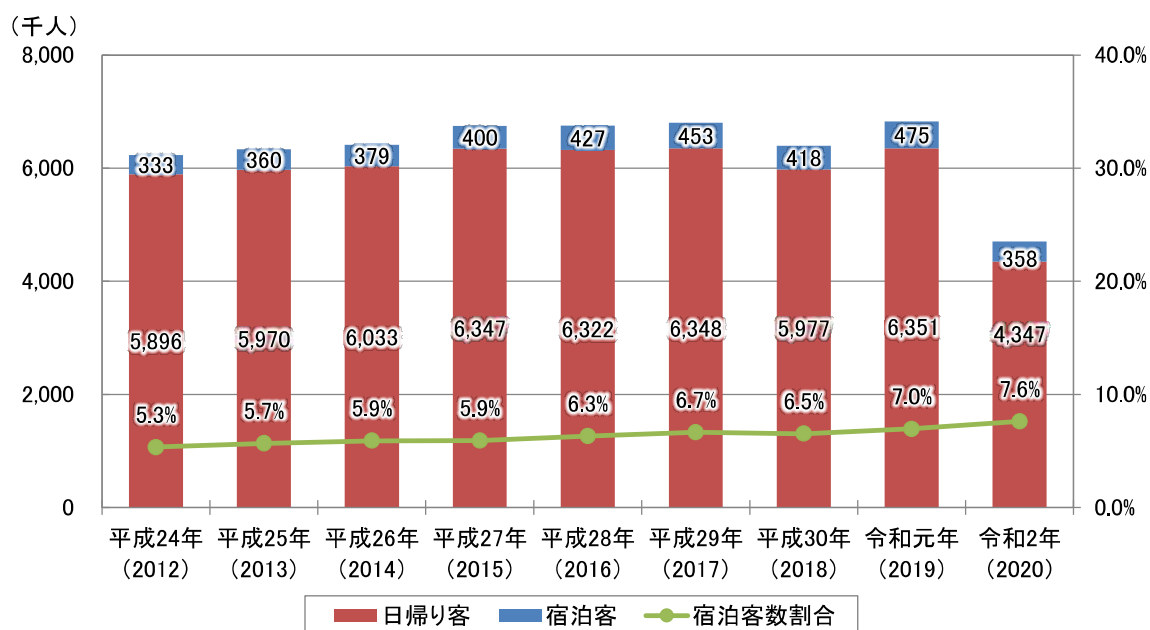
また、宿泊客・日帰り客の推移をみると、今治市における日帰り客は、尾道市の1/3程度となっていますが、宿泊客は同程度となっています。

■ 今治市における観光客（宿泊客・日帰り客）の推移



資料：庁内資料

■ （参考）尾道市における観光客（宿泊客・日帰り客）の推移

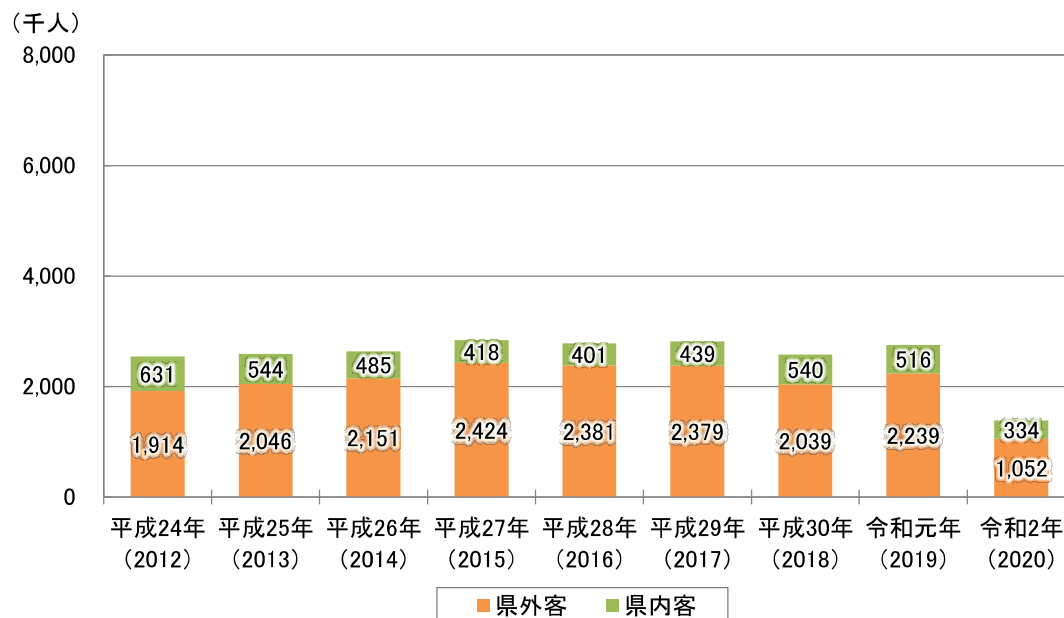


資料：広島県観光客数の動向

今治市における県内客・県外客の推移をみると、県外客の割合が高く、令和3年の県外客は約90万人、県内客は約30万人となっています。

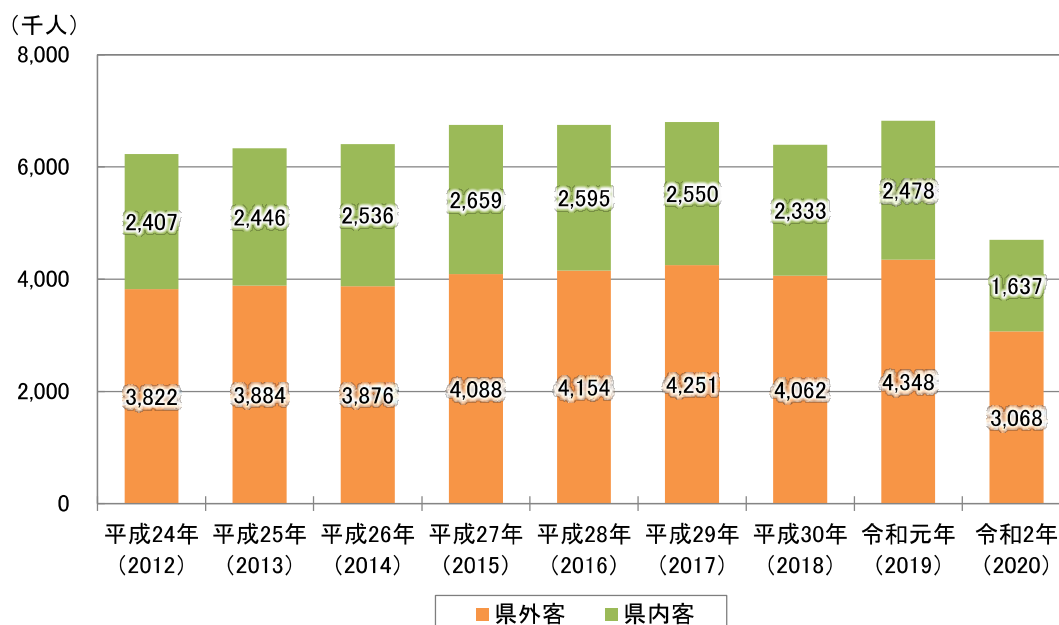
一方、尾道市においては、今治市と比べて県内客の割合が高くなっており、各年において観光客数の1/3以上を県内客が占めています。

■ 今治市における観光客（県外客・県内客）の推移



資料：庁内資料

■ （参考）尾道市における観光客（県外客・県内客）の推移



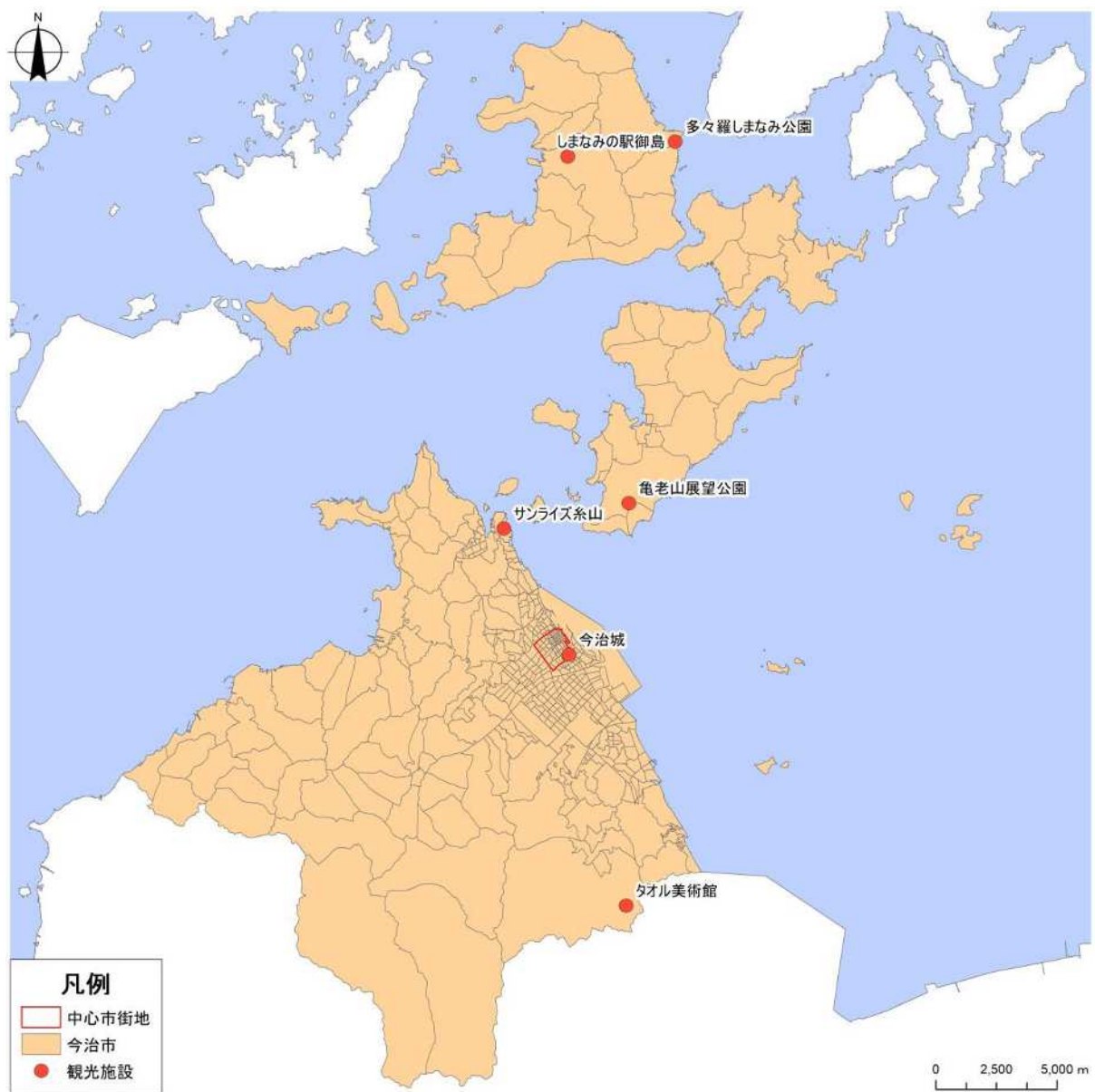
資料：広島県観光客数の動向

③ 主要な観光施設及び中心市街地に立地する観光施設の分布

令和3年度における主要な観光施設は、多々羅しまなみ公園、タオル美術館、サンライズ糸山、亀老山展望公園、しまなみの駅御島となっています。

また、中心市街地に立地する観光施設には今治城があります。

■ 主要な観光施設の分布

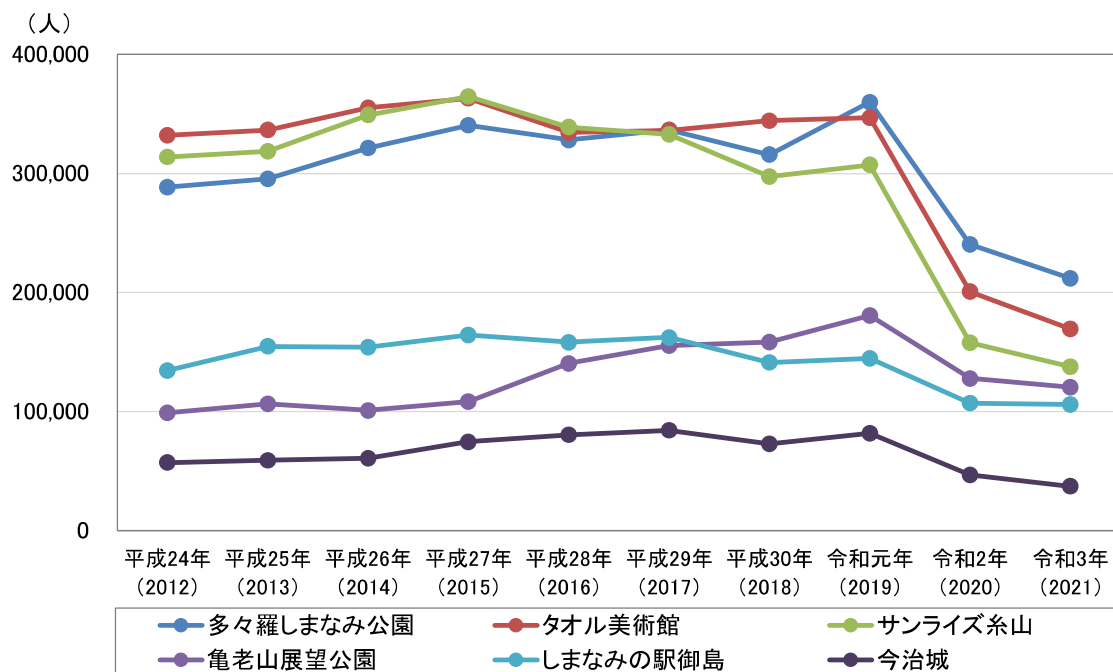


資料：庁内資料

④ 主要な観光施設利用者数の推移

主要な観光施設における利用者数の推移をみると、平成 24 年から令和元年にかけて、多々羅しまなみ公園や亀老山展望公園の利用者数は増加傾向、サンライズ糸山の利用者は減少傾向にありました。令和 2 年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により全体の利用者数が減少しています。

■ 主要な観光施設利用者数の推移



■ 主要な観光施設利用者数の推移表

(人)

	平成 24 年 (2012)	平成 25 年 (2013)	平成 26 年 (2014)	平成 27 年 (2015)	平成 28 年 (2016)	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)	令和元年 (2019)	令和 2 年 (2020)	令和 3 年 (2021)
多々羅しまなみ公園	288,460	295,492	321,384	340,414	328,186	336,588	315,846	359,860	240,341	211,824
タオル美術館	332,066	336,493	355,054	363,073	334,373	336,213	344,300	346,739	200,642	169,405
サンライズ糸山	313,805	318,568	349,112	364,617	338,877	332,819	297,409	307,114	157,822	137,704
亀老山展望公園	98,975	106,357	100,977	108,390	140,458	155,443	158,420	180,704	127,764	120,320
しまなみの駅御島	134,382	154,748	154,060	164,274	158,144	162,202	141,202	144,636	107,014	105,934
今治城	57,125	58,949	60,603	74,474	80,364	84,203	72,879	81,683	46,773	37,105

資料：庁内資料

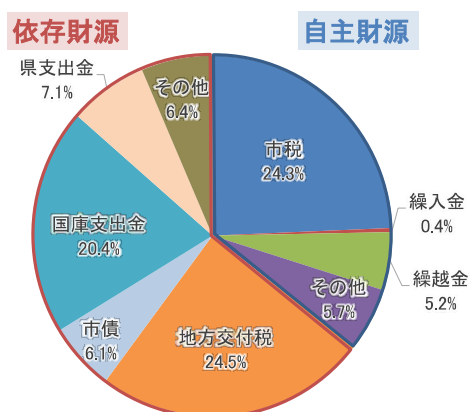
(4) 財政の状況

① 歳入決算の内訳と推移

令和3年度決算における歳入額は約85.8億円となっています。構成比でみると、地方交付税が24.5%と最も高く、次いで市税が24.3%となっています。

歳入決算額の推移をみると、主に市債がゆるやかに減少しています。また、令和2年(2020年)には新型コロナウイルス感染症への対策のため、国庫支出金が急増しています。

■ 歳入決算の内訳 (令和3年度)

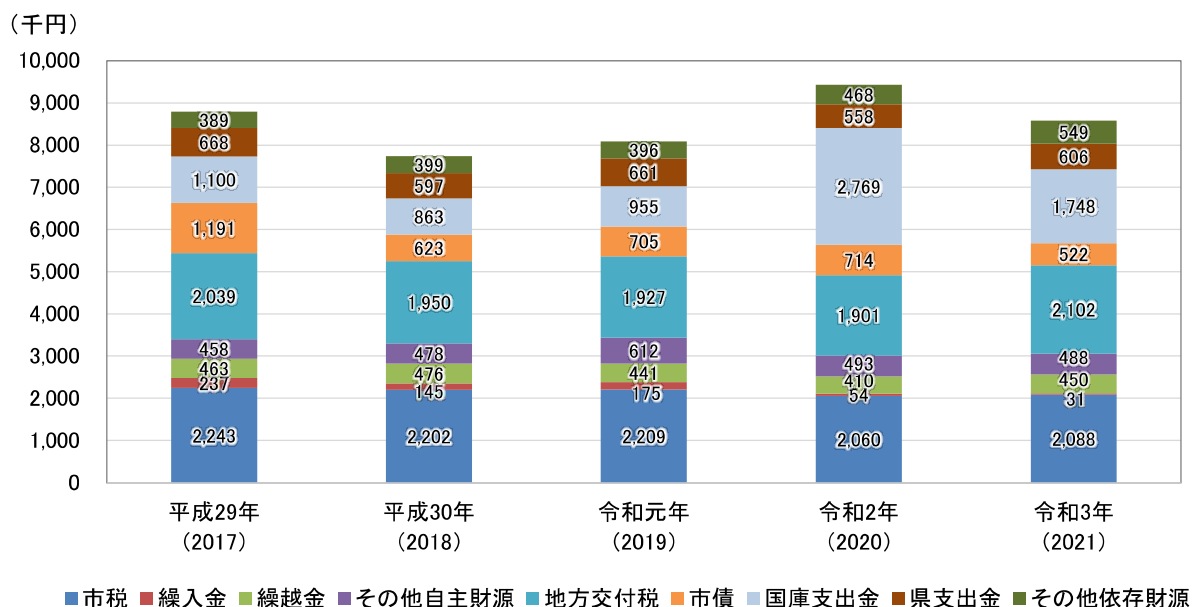


■ 歳入決算額の推移

単位: 千円

区分	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)
市税	2,242,954	2,202,487	2,208,601	2,059,698	2,088,264
繰入金	236,886	144,532	175,015	53,935	30,854
繰越金	462,760	475,811	440,965	410,454	449,782
その他自主財源	458,016	478,483	612,424	492,807	487,551
地方交付税	2,039,381	1,949,628	1,927,452	1,901,416	2,101,566
市債	1,190,620	623,450	705,240	714,090	521,500
国庫支出金	1,100,381	863,263	954,737	2,769,289	1,748,374
県支出金	667,783	596,658	661,236	557,569	606,371
その他依存財源	388,515	399,244	396,469	468,177	549,497
歳入合計	8,787,296	7,733,556	8,082,139	9,427,435	8,583,759

■ 歳入決算額の推移 (分類別)



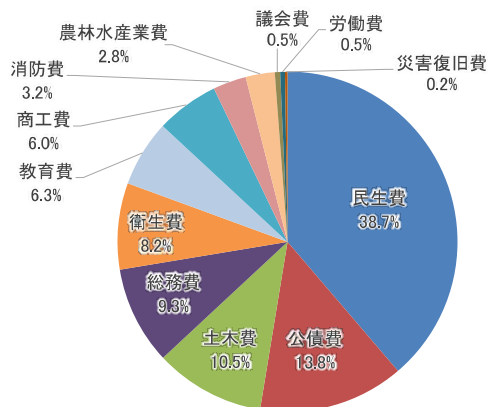
資料: 今治市財政事情の公表

② 歳出決算の内訳と推移

令和3年度決算における歳出額は約79.9億円となっています。構成比でみると、民生費が38.7%と最も高く、次いで公債費が13.8%となっています。

歳出決算額の推移をみると、民生費が増加傾向にあります。また、令和2年（2020年）には、新型コロナウイルス感染症への対策のため、総務費が多くなっています。

■ 歳出決算の内訳（令和3年度）

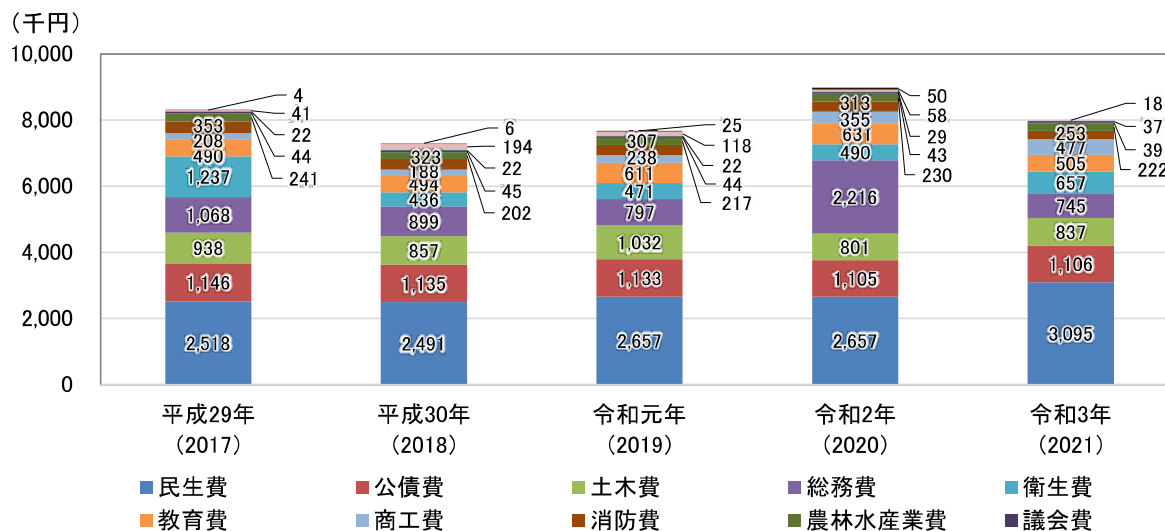


■ 歳出決算額の推移

単位：千円

区分	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)
民生費	2,517,813	2,491,404	2,656,883	2,657,160	3,095,349
公債費	1,146,365	1,135,152	1,132,675	1,104,798	1,106,454
土木費	938,231	857,252	1,031,522	801,429	836,643
総務費	1,068,056	898,958	796,749	2,216,472	744,724
衛生費	1,237,322	436,300	471,190	490,127	656,844
教育費	489,805	493,633	611,130	630,955	505,300
商工費	207,561	187,639	238,221	354,731	476,792
消防費	353,327	323,196	307,448	312,536	253,425
農林水産業費	241,022	201,624	217,111	229,831	222,008
議会費	44,089	44,735	44,229	42,752	39,476
労働費	22,248	22,361	22,126	28,853	36,938
災害復旧費	41,202	193,962	117,566	58,277	17,855
諸支出金	4,443	6,375	24,835	49,731	0
歳出合計	8,311,484	7,292,591	7,671,685	8,977,652	7,991,808

■ 歳出決算額の推移（分類別）



資料：今治市財政事情の公表